



2025-2026 会長方針 //

高知東RCメンバーとして
矜持を持ち、他者を慮ろう



第2641号
週報
12月10日.2025

高知東ロータリークラブ

本日 12月10日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知
ゲストスピーチ
「『地方の時代』は本当に来るのか オンリーワンで輝くための挑戦」
高知銀行 取締役頭取 河合 祐子 氏

次週 12月17日(水)18:30 ザクラウンパレス新阪急高知

忘年夜間例会

第2687回 例会報告／令和7年11月26日 天候 晴

◇ロータリーソング

「それでこそロータリー」

◇来訪ロータリアン及びお客様

高知中央RC 西川英裕氏、片岡 理氏

◇会長挨拶



皆さん、こんにちは。先週末は城崎旅行に多数の参加をいただきありがとうございました。近年では珍しく地区大会以外での1泊旅行となりました。

た。2日間にわたって親睦委員会の皆さんには、朝から晩までお世話になりました。最終の高知着では、まさかの荷物やお土産を忘れたりといったことも起こって、楽しい旅行となりました。パンツを忘れた方もいて、いろいろ不都合があったのではないかと心配しました。

朝夕の空気に冬の気配を感じるようになりました。木々が色づきはじめ、季節はまさにスポーツの秋、食欲の秋、読書の秋と言われる活動的で豊かな時季を迎えています。

スポーツと聞くと、皆さんはそれぞれ思い出や得意競技があるかもしれません。私は個人的にスポーツは人生の縮図だと感じています。勝ち負けだけでなく、準備、仲間との協力、困難に直面したときの姿勢、その全てが私たちの日常やロータリー活動に通じる部分があると思います。

最近テレビなどで盛り上がりを見せている

スポーツと言えば、野球、サッカー、ラグビー、マラソンといった秋の風物詩ではないかと思います。特に高校野球や駅伝などでは、若い選手たちが全力でプレーする姿に胸を打たれます。そこには、個人の力とチームの力の絶妙なバランスがあり、どちらが欠けてもよい結果には繋がりません。例えば、マラソンは一見個人競技のように思えますが、練習を支えるコーチや仲間、そして、沿道で声援を送る人々の存在があってこそ走り切ることができます。

ロータリー活動も同じで、1人の力で達成できることには限界があります。クラブのメンバーが互いに支え合い、同じ方向を向くことで大きな成果が得られると思います。ロータリーの標語である「超我の奉仕」も、まさにチームワークの精神を表しています。自分よりも他者をおもんぱかり、奉仕の心で行動する。この精神があるからこそ、ロータリークラブは100年以上、世界中で活動し得るのではないでしょうか。

スポーツの世界でもチームプレーの大切さを象徴する名言が数多くあります。例えば、バスケットボールの神様と呼ばれるマイケル・ジョーダンの「才能が試合に勝つ。しかし、チームワークと知性がチャンピオンを生む」この言葉は、まさにロータリーの活動にも当てはまります。個々の力がいくら素晴らしいても方向がバラバラでは大きな成果にはなりません。お互いの力を引き合い出し、知恵を

共有し、同じ目的に向かって進むことこそが、私たちのクラブの力を何倍にも高めると思います。

そして、スポーツにもロータリー活動にも共通する大切なことがあります。それは楽しむことです。勝ち負けにこだわらず過程を楽しむ。自分の成長を楽しむ。仲間と協力することを楽しむ。ロータリーの活動も義務感からではなく、心からの喜びと誇りを持って取り組むことで、より多くの人によい影響を与えるものと思っています。

季節は秋、スポーツの秋でもあり、学びの秋でもあります。この時季に改めてチームとしてのロータリーを意識し、皆で力を合わせて様々な事に取り組んでいけたらと思います。

◇高知中央RCより

創立40周年記念行事の案内



高知中央RCは1986年2月1日に創立し、おかげ様で来年40周年を迎えることとなりました。これも皆さま方のおかげだと心より感謝申し上げます。つきましては、令和8年2月7日(土)に、城西館において記念式典、記念講演、祝賀会を開催。講演では、長きにわたりラオスでの国際奉仕を続けてこられた高知ラオス会の会長様と、その活動を支える高知商業高校生徒会の皆さんにご登壇いただきます。

翌8日(日)は記念ゴルフコンペを開催します。地域クラブとの友情と親睦をさらに深めることを目的としていますので、ぜひご参加ください。

東RCの皆さんには、我がクラブの40周年の晴れの舞台にぜひご臨席賜りますよう、心よりお願いいたします。

◎片岡 理氏挨拶



1985年9月2日、高知市内の5クラブの会長・幹事会において、高知市内に追加クラブの意向が2670地区の濱川ガバナーに伝えられ、11月5日、高知東RCがホストクラブ、高知・高知南・高知西・高知北がコ・ホストクラブ、高知東RCの池知正水さんが特別代表に委嘱され、

会員数40名を目標に発足準備が始まりました。最終的にチャーターメンバーは38名。バナーは東クラブの安藝さんが作成、1986年2月1日から例会場は国際ホテル高知、例会日は土曜日、日本で1691番目、2670地区では66番目のクラブとして、高知中央RCが発足しました。さらに、我々はRIで100万人目の会員として、特別会員証が交付されバッチを頂きました。これは、東RCさんが推し進めていた結果だと感謝しています。その後、私が会長を務めた2004-2005年度はロータリーの創立100周年を迎え、会員数は120万人になっています。2004年10月30日、私たちが19年間お世話になった国際ホテルが閉館しましたが、11月4日からは例会場を城西館に移して、現在21年目です。

このように、皆さまのおかげで中央RCは創立40年を迎えます。皆さんに、我々の成長を見に来ていただきたいと思いますので、多くの方々のご参加をお待ちしています。

◇水曜会からバザーのお知らせ



本日は、来年1月に開催されるバザーについて、商品の提供とお手伝いのお願いにまいりました。商品は年々品薄になっていますが、皆さんからの提供で助かっています。12月10日の例会前に受け取りにまいります。また、値付や販売、商品の購入についても、本会の方、ご家族も大歓迎ですので、今年もお力添えをよろしくお願いします。

◇親睦委員会より



11月22日、23日の城崎温泉のバスツアーには、16名が参加しました。城崎温泉では温泉めぐり、カニづくしの料理を楽しんで、全員無事に帰ってまいりました。

◇会長報告

定款・細則の改定に伴う異議の受付に関して、本日までに異議はなかったことをご報告します。次週の年次総会が滞りなく進行するよう、皆さまのご協力をよろしくお願ひします。

ハチと兵士の像を建てる会の会長の田村様より、像ができしたことへのお礼状が届いています。

◇幹事報告



後は年次総会を行います。

- ・短期交換プログラムの報告書を回覧します。
- ・本日例会終了後、役員会を行います。
- ・次週は五大奉仕委員会の中間発表です。例会

◇ゲストスピーチ

日本銀行高知支店 支店長 永幡 崇氏

「当支店の機能と高知経済」



私は昭和50年生まれ49歳。出身は大阪府泉州郡、前は海、後ろは山という田舎です。1998年、日本銀行に入行。調査統計局が長く、高知支店長になる前、直近も経済調査課長として、日本経済の分析と予測の取りまとめをしていました。高知に来て1年3ヶ月、高知RCに所属して、高知の生活を大いに楽しんでいます。

日本銀行の支店は全国に32カ所、四国は高松・高知・松山の3カ所。高知支店は1943(昭和18)年に開設され、以来80年、発券課、業務課、総務課の3課体制で高知県の金融インフラとしての機能を果たしてきました。発券課は、四国銀行さん、高知銀行さんなどを通じて経済の血液である日本銀行券の安定供給に努めています。最近は、新しいお札への切り替えなども行っています。業務課は銀行の銀行、政府の銀行といった機能を担っています。総務課は主として、高知県の経済金融調査などを行っています。

経済調査、経済予測は金融政策面において必要不可欠です。金融政策は金利の上げ下げをしてから経済と物価に影響を与えるまでに時間がかかるため、日本銀行では足元の景気の現状評価を正確に行なった上で、2、3年先までの景気と物価の予測をして、今の金融政策を決めます。このため、経済調査・予測は

とても大事ですが、経済予測は非常に難しいと日々感じています。

日銀のエコノミストで、25年前に副総裁をしていた山口 泰は2000年8月の講演で「中央銀行とは、前方の曇った窓ガラスとリアミラー、さらには不正確な速度計を見ながら、曲がりくねった道路を走る自動車の運転手のようなものだ」と言っています。そして、この後すぐに、私どもの金融政策決定会合でゼロ金利解除を決めて金利の利上げをしました。その前提として、景気は全体として緩やかな回復傾向をたどっているという現状認識がありました。山口も、この講演で「ITブームによる世界経済の好調が続く」と理由を述べており、その見通しの中で利上げをしましたが、年末にかけてITバブルが崩壊しました。そこで日本銀行は、また金利を下げて緩和方向への政策転換をしました。今、アメリカの経済はAIブームが支えていて好調ですが、これが続くかどうかが一つの論点になっています。予測が難しいのは日本に限ったことではなくて、海外の中央銀行でも経済予測には苦労をしています。

2代前の日銀総裁の白河方明は「過去の失敗の経験から学ぶべき最大の教訓は、我々の知識は限られているという謙虚な認識に立ち、その上で大きな予測の失敗をしていくための

工夫を意識的に行うことである」と述べています。実際、日本銀行では複線的アプローチを常に意識して、大きな判断ミスをしないように最善を尽くしています。複線は様々な角度から張っていますが、主なもの一つはマクロとミクロ。マクロは統計データなどを分析して経済の予測をする。ミクロは企業ヒアリングを重視して、企業の皆さん方の見方などを集めて、我々がマクロで見たものとどういうところで整合するかを常にチェックしています。二つ目は、大都市圏と地方圏。昨今は、大都市と地方の差がどんどん開いていて、地方の中小企業の声はとても大事です。三つ目は、循環要因と構造要因。景気の好不況の循環に対しては金融政策は有効ですが、少子高齢化や競争力低下といった構造的な要因による低成長に対しては金融政策では対応できないと言われています。

こういったことから高知県経済を調査することは、地方の中堅・中小企業の実情をしっかりと把握し、少子高齢化が全国より先行している高知県への影響をしっかり見ていく重要性が浮かび上がります。また、高知県は製造業のウエイトが低いことから、内需主体の地域経済での金融政策の波及効果はどうなっているか。こういった点も重要な調査のポイントです。

日本経済全体を分析して予測する観点では、製造業をしっかり見ることがとても大事で、日本の場合、景気の変動を作り出しているのは主としては製造業です。ただ、高知県は製造業が少なく、保険衛生社会事業、医療福祉事業、そして、建設業、公務、教育、農林水産業といったところが、経済に占めるウエイトが大きいということで、よくも悪くも高知県は海外経済の影響は受けにくい一方で、政策面の影響は受けやすいといった経済です。さらに、少子高齢化関連の指標はどれを見ても厳しい状況です。少子高齢化経済の問題で一番大きいのは、労働力人口の減り方が総人口の減り方よりも早く、働き手がない。他方、介護サービスや医療サービスの消費は継続、なおかつ、介護や医療は人手がかかる分野であることから、様々な問題が出てきます。足元で起こっている人手不足や賃金上昇圧力は一時的なものではなくて、構造的なもので

す。一般的に製造業や大企業に比べて、非製造業や中小企業は、生産性の改善が簡単ではありませんので、この辺りは重要な調査ポイントだと思います。

2030年になると高齢化は一層進展すると言われており、社会保障改革や財政再建はこれまで以上に必要になるといった展開が予想されます。政府の財政運営の影響を受けやすい高知県はどうなるか。これは、長い目で見ると大事な視点になってきます。

自然減が高知県の人口減少の主要因ですが、それに県外への若者の流出など社会減が加わって、毎年1%を上回る人口減少が続いています。高知は女性の労働参加率が全国に比べても高く、女性の労働活用も十分に進んでいるため、この先、女性の労働参加率をさらに高めて人手不足に対応できる余地は全国に比べると限られています。ですから、今後は、女性をもっと経済の中枢に使うなどといったことをしていかないといけないと考えます。また、賃上げは構造的なもので、これが持続的に続いていくためには、基本的には商品・サービスの付加価値を高めて販売価格を上げていくか、あるいは生産や事業のプロセスを効率化して生産性を上げていくという地道な取り組みが不可欠です。こうした循環がうまく回っているかどうか、回らないとすると何が障害になっているか、しっかり調査していくことが必要です。

最後に、金融政策の波及を見ていく上でも、高知県経済は特殊なところがあります。一般的に金利を変えると資金の調達のしやすさ、借り入れ、預金の金利といった変化を通じて経済に影響を与える。これは基本的には全国も高知も同じです。ただ、高知県は製造業のウエイトが小さいことから、例えば金融緩和をした場合、為替が円安になって輸出産業が潤うといった経路が期待できますが、高知県では、こうした経路が総体的に小さい。こういった、全国との差異にも注意しながら、金融政策の波及状況もしっかり見てまいりたいと考えています。引き続き、日本銀行高知支店の業務や調査活動にご理解、ご協力を賜わればと思います。

ニコニコ崖

- ・永幡 崇様 お車代をニコニコへ。
- ・西川様、片岡様（高知中央ＲＣ） 本日は貴重なお時間をいただき心より感謝いたします。高知中央ＲＣ創立40周年事業にご出席いただきますよう、よろしくお願ひいたします。
- ・西森美和（水曜会） 本日はお時間をいただきありがとうございます。バザーでは、よろしくお願ひいたします。
- ・西森良文 本日は中央ＲＣの西川実行委員長、チャーターメンバーの片岡さん、40周年よろしくお願ひします。永幡支店長、本日は卓話ありがとうございました。
- ・岡崎勇樹 11月8日、親睦の皆さまにお世話になり、楽しいボウリングとなりました！中2の息子ともコミュニケーションが取れ、また息子に賞をいただきありがとうございました。11月22日、23日、城崎カニ旅行は大変楽しく過ごさせていただきました。親睦の皆さま、特に武吉さんには、様々な準備をしてもらい本当にありがとうございました。追伸：忘れ物が多かったので、次回は忘れ物には十分注意しましょうね！
- ・前田 博 2025年度高知県建築文化賞優秀賞をいただきました。記念にニコニコします。
- ・中平真理子 城崎旅行、親睦の皆さま、大変お世話になりました。最後の最後に西森会長、押栗さん、吉永さん、ありがとうございました。
- ・広瀬雅彦 23日の日曜日に大阪城ホールに長女の全国高校マーチングコンテストの応援

■高知東ＲＣ当面の日程

- 12月17日(水) 忘夜年間例会（城西館）
役員会（例会前）
- 12月24日(水) ロータリー休日
- 12月31日(水) 休会

に行ってきました。結果は銅賞でしたが、今まで一番良い演奏ができたと思います。皆さまの奉加帳へのご協力ありがとうございました。

- ・竹村克彦 城崎温泉にご一緒いただいた皆さんに感謝！トランプゲームで良いことがありましたので、全てをニコニコへ。
- ・武吉佳月 城崎1泊野外レクレーション、たくさんのご参加ありがとうございました。至らぬところも多々あったかと思いますが、皆さまのご協力のおかげで楽しい旅行となりました。最後、灘菊酒造で、西森会長の誘惑により、限定100本の日本酒を買いました。22,000円です。西森会長、これどうしましょくか。
- ・吉永光男 カニ旅行楽しかったです。親睦委員会、ガイドの武吉さん、お世話ありがとうございました。
- ・増田伝郎 久しぶりに出てきてすみません。メールボックスが満タンになっていました。
- ・前川美智子 日銀高知支店長 永幡さん、本日は卓話ありがとうございました。
- ・伊東瑞文 本日、入会させていただくことになりました四国銀行の伊東でございます。よろしくお願ひいたします。11月8日で58歳です。まだまだ頑張ります。
- ・今西 博（親睦委員長） 11月22日～23日、城崎温泉バスツアーに多数ご参加いただきありがとうございました。温泉めぐり、カニづくしの料理を楽しみ、全員無事に帰ってきました。ありがとうございました。
- ・ザ クラウンパレス新阪急高知 いつもご利用ありがとうございます。

2026年

- 1月7日(水) 時間変更例会
(ザ クラウンパレス新阪急高知)
定例理事会（例会前）
- 1月14日(水) 休会
- 1月21日(水) 役員会
- 1月28日(水) 職場例会

年末年始休業のお知らせ

ガバナー事務所、ガバナーエレクト事務所、委員会支援事務所は、
2025年12月27日(土)～2026年1月4日(日)まで、年末年始休業とさせていただきます。

城崎(カニ)旅行

2025年11月22日(土)・23日(日) 於: 兵庫県豊岡市



● ニコニコ箱 ●

	ニコニコ (チビニコ含む)
先週まで	590,398円
11月26日	45,200円
今期の累計	635,598円

● 出席率報告 ●

	総数	出席	欠席	メイクアップ	HC出席率	出席率
11月26日	⁻⁵ 49	39	3	2	79.59%	93.18%
11月12日	⁻⁷ 50	36	0	7	72%	100%

●会長／西森良文 ●幹事／野町和也 ●雑誌会報委員／押栗全志・森田倫光

●例会日／毎週水曜日12:30PM～1:30PM ●例会場／ザ クラウンパレス新阪急高知 (088)873-1111

●事務局／高知放送南館8階 ☎ 780-0870 高知市本町3-3-39

直通 (088)824-8660

ホームページアドレス(PC・携帯共通)<http://www.kochi-east-rc.com>

メールアドレス 事務局／hcrc@coffee.ocn.ne.jp 広報 I T 委員会／info@kochi-east-rc.com